

みんなとともに笑顔いっぱい — 創立百周年 その先の未来へ みんなとともにスマイルミッション —



みんなとともに



月曜日は、「こだわりの清掃」の日です。自分できれいにしたいところを見つけ、清掃をします。私がいつも関心があるのは、一番やりたくないであろうトイレ掃除をやる子もいるのかな、ということです。でも、ちゃんといました6年生が、この「清掃の意味」を後ろ姿で語っているようです。さすが最上級生です。トイレ清掃が一番人気の場所になったとき、大きく何か変わるような予感がしています。



「いまここ学習室」の試行を始めます

「新しい日課表（午前5校時）」が始まって6週間、子どもたちも新しい生活のリズムに慣れてきているようです。さて、この日課表は、新学習指導要領の実施に伴い、授業時間数が増加する「毎日6校時制」に対応することが目的の一つである、ということはこれまでもお伝えしてきました。

ただ、この日課表は上学年にとってのメリットが大きいものであり、下学年ごどのようなメリットをつかっていくのが、一つの課題でした。その一つの試みとして、「いまここ学習室」事業を始めました。

◇放課後の学びの場「いまここ学習室」事業

「新たな日課表（午前5校時）」で生まれた時間を活用して、主に下学年の児童を対象に、宿題や自主学習を行う場をつくることにより、「学びの習慣」が定着できるようにする。

※ まずは、「2年生」を対象にモデルケースとして試行し、状況を見て他学年へと対象を広げる予定。

〈開催時間〉 「月・火・木・金」の「午後2時30分から午後3時30分」

・開催時間中の入室、退室は自由。

〈開催場所〉 ふれあい広場（中校舎1階）

・ふれあい広場を「いまここ学習室」として使用。
・席数は、14席。

〈支援員〉 福島大学学生（学生ボランティア）

・児童からの働きかけに応じた指導。



そこで・・・、学習ボランティアを募集します！

「いまここ」と名付けたのは、「いつから勉強するの?」「いまからでしょう。「ここ」からでしょう。」という意味です。やらなかった日々をくよくよしたり、先のことを心配ばかりしたりするのではなく、確実な「いま、ここ」での勉強をしっかりとしよう、ということです。

学生のボランティアを毎週毎週1名ずつ探して、3名は確保できましたが、この事業を充実させるためには、もっともっと「ひと」が必要で。

もし、お知り合いの中に手伝ってくださる方がいましたら、校長まで教えてください。お祖父さん、お祖母さんも大歓迎です。よろしくお願いします。

【校長のつぶやき】 その14 「押すか、引くか・・・」

子どもを動かすときに、大きく2つの方法がある。一つは、「プラスの面」からアプローチする方法。例えば、「これができるよ、こんなよいことか起きるよ」と伝えるやり方。もう一つは、「マイナスの面」からアプローチする方法。例えば、「これをやらないと、将来こまることになるよ」というやり方。皆さんの子育てでは、どちらの色が濃くなるか。

要は、「バランス」なのではないのだろうか、と最近思う。「押し」たり、「引」いたりしながら、子どもの心へアプローチをしていく。その中で、その子にあった「ちょうどいい塩梅（あんばい）」を探る。おそらく意識をしておらずとも、皆さんはそうしていることだろう。

ただ、根底には、その子を思う「愛情」が必須である。その思いさえあれば、押しも引いても、子どもは分かってくるものだと信じている。